

令和6年度～7年度 ブセナ海中公園  
グラスボート運営事業者 企画公募型コンペティション  
応募要項

令和6年1月



**令和6年度～7年度 ブセナ海中公園**  
**「グラスボート運営事業者」企画公募型コンペティション**  
**応募要項**

**1. 目的**

一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー（以下「OCVB」とする）ブセナ海中公園事業所のグラスボート運営事業者の選定を目的に、企画公募型コンペティションを実施する。

**2. 委託業務の概要**

- (1) 事業名：令和6年度～7年度 ブセナ海中公園 グラスボート運営業務
- (2) 契約期間：令和6年4月1日から令和8年3月31日まで
- (3) 業務概要：別添「令和6年度～7年度 ブセナ海中公園 グラスボート運営事業者 企画公募型コンペティション仕様書」を参照

**3. 連絡先**

一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー ブセナ海中公園事業所（担当：上原）  
〒905-0026 沖縄県名護市字喜瀬 1744-1  
TEL：0980-52-3379 FAX：0980-53-0675 E-mail：[busena@ocvb.or.jp](mailto:busena@ocvb.or.jp)

**4. 応募資格**

- (1) 企画提案の参加資格は、次の要件を満たす企業又は団体とする。
  - ① 地方自治施行令（昭和22年政令16号）第167条の4第1項の規定に該当しないこと
  - ② 役員に次のいずれかに該当するものが含まれていないこと。
    - ア 破産者で復権を得ない者。
    - イ 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者。
    - ウ 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第6号に規定する暴力団員若しくは暴力団員でなくなった日から5年を経過しない（以下「暴力団の構成員等」とする）。
  - ③ 暴力団の構成員等の統制の下にある者でないこと。
  - ④ 沖縄県内に本社、支社又は営業所を有すること。
  - ⑤ 本業務を運営するにあたって、必要に応じてOCVBと速やかに連携を行うなど、業務を円滑に履行することができる体制が整備されていること。
  - ⑥ 複数の企業等でコンソーシアムを構成し応募する場合は、幹事企業を選定しており、かつ当該幹事企業が④の条件を満たしていること。
  - ⑦ 沖縄県より指名停止措置を受けていないこと。
- (2) 応募にあたっては、以下に留意すること。
  - ① 1社又は1コンソーシアムにつき1提案の応募とすること。
  - ② 一つの企業が複数のコンソーシアムを通じて二つ以上の提案をすることは出来ないものとする。

## 5. 手続き及びスケジュール

### (1) 応募に係る資料の配布及び場所

配布期間：令和6年1月15日（月）から令和6年2月5日（月）（正午）12:00まで

配布場所：OCVB 公式 Web サイトに資料掲載 <https://www.ocvb.or.jp/>（新着情報、公募）

### (2) 企画提案参加申込

申込期間：令和6年1月15日（月）から令和6年2月5日（月）（正午）12:00まで

申込方法：所定の企画提案参加申込書（様式1）に必要事項を記入の上、原本を郵送又は持参

申 込 先：企画提案参加申込書（様式1）参照

※申し込み後に辞退する場合は、参加辞退書（様式4）を提出すること

### (3) 応募に係る質問受付及び回答

受付期限：令和6年2月13日（火）（正午）12:00まで

質問は所定の質問書（様式2）に記載の上 E-mail での受付とし、電話等その他の方法での質問は受け付けない。

質問回答：全参加申込者へメールにて回答

### (4) 応募書類の提出方法及び提出期限

提出方法：企画提案提出書（様式3）、適格性確認書（様式5）と「8. 応募書類等」に定める書類を郵送又は持参

※「適格性確認書（様式5）」については、コンソーシアム等複数の企業により構成される場合、構成企業全ての原本を提出すること。

提 出 先：「3. 連絡先」参照

提出期限：令和6年2月19日（月）（正午）12:00まで

### (5) 疑義照会

期限までに提出のあった企画提案書について、後日 OCVB より疑義照会を行うことがある。

### (6) 応募書類の審査及び結果の通知

「7. 審査」にて定めるとおり。

### (7) 契約の締結

契約予定事業者選定後は、OCVB が作成した仕様書及び当該事業者が提出した企画提案書と予算見積書の内容に基づき、双方協議の上で「委託仕様書」と委託額を決定し、契約を締結する。ただし、OCVB と契約予定事業者が委託契約に必要な協議で合意に至らなかった場合は、次順位以降の事業者を繰り上げて協議の上、契約を行うものとする。

## 6. 再委託

本事業を実施するにあたっては、OCVB の承認なくして、委託業務の全部又は一部を第三者に委託（以下「再委託という。」）してはならない。この場合の再委託者の資格については、本要綱「4. 応募資格」の規定を準用するものとする。

## 7. 審査

### (1) 応募書類の審査

- ① 提出された企画提案書に対し審査会を行い、1次審査・最終審査を経て契約予定事業者を選定する。原則として、1次審査は書面審査にて行い、上位3社程度を選出し、最終審査へ進むものとする。ただし、応募件数によっては、最終審査のみを行い、契約予定事業者を選定する場合もある。
- ② 最終審査はプレゼンテーションによる審査を行う。最終審査会の開催日時及び場所については、1次審査通過社に対して日時及び場所の通知を行うこととし、公開しない。なお、1次審査・最終審査の内容についての問合せには対応しない。

### (2) 審査会のスケジュール（予定）

1次審査会：令和6年2月22日（木）

最終審査会：令和6年2月29日（木）

### (3) 評価のポイント

- ① 仕様書に記載されている諸条件を十分に理解した提案がなされているか。
- ② 運営体制が妥当であるか。
- ③ 類似する業務経験が豊富であるか。
- ④ グラスボートの利用者・売上の拡大につながる独自提案があるか。
- ⑤ 見積金額及びロイヤリティ率が妥当であるか。

### (4) 審査結果の通知

最終審査結果の通知については、終了後1週間程度を目安に応募者全員に電子メールにて通知するものとする。尚、審査の内容及び審査結果についての問合せには対応しない。

## 8. 応募書類等

応募に際し提出する書類は以下のとおりとし、(1)～(4)については、会社名、個人名が記載されクリップ止めしたものを各6部提出すること。

### (1) 会社概要（様式3）

コンソーシアム等、複数の企業により構成される場合、構成企業全ての会社概要を提出すること。なお、会社概要資料（パンフレット）等の添付は1部のみでよい。

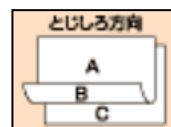
### (2) 類似案件の実績（様式3）

構成企業別に過去5年以内に行われた全ての類似案件実績を示すこと。

### (3) 企画提案書・提案概要書

- ・仕様書に基づき「企画提案書」及び、企画提案書の内容をA4版1枚にまとめた「提案概要書」を提出すること。
- ・提案書には、要求された仕様の実現方法及び独自の提案内容をわかりやすく提示すること。
- ・それぞれサイズはA4横置き・長辺綴じ・両面印刷の場合は縦開きとし、明瞭簡潔に示すこと。（右図参照）

※綴じ方例



- ・ 提案書は両面印刷で 20 ページ以内に納めること。(表紙、目次、見積りを含まない)
- ・ 提出する全ての書類は 2 穴パンチをあげ、カバーはつけないこと。
- ・ 企画提案書、提案概要書及び見積りは、所定のメールアドレスへ PDF での提出も行うこと（送付先は、「3. 連絡先」を参照）

(4) 予算見積書

- ・ 委託業務に係る経費について、所要経費を見積もること。なお、委託金額ではなく歩合制（グラスボート売上に対するロイヤリティ率）による提案も可とする。
- ・ 金額の単位は円とする。
- ・ 合計金額には消費税（10%）を含むものとし、委託業務の総経費に係る消費税については1 円未満の端数がある場合、切り捨てて計算することとする。
- ・ 企画費、人件費など、自社内の経費として、外注先との領収書等が発生しないものについては、精算の際、原則として見積時の積算を超えることは出来ないものとする。

## 9. その他留意事項

- (1) 応募書類の作成等に関する費用は、申請者の負担とする。
- (2) 応募書類に虚偽の記載をした場合には、応募を無効とする。
- (3) 応募書類に不備・不足がある場合、審査の時の減点対象となる。
- (4) 応募書類の提出後は、記載された内容の変更は認めない。
- (5) 提出された応募書類は、返却しない。

以上